

# 科目 臨床生理学 (Clinical Physiology)

担当教員 原田 昌彦、杉山 邦男、鈴木 淳、高田 信夫、寶田 雄一、久武 真二、榎谷 直司、丸山 憲一、横田 浩充

## 【1】 授業の目的と学習成果〔教育目標・具体的な項目〕

臨床検査技師に必要な生理学的知識の習得を目的とする。

また、4年生8月に行われる臨床生理機能検査実習に必要な基礎知識を学びかつ臨床検査技師国家試験に対応できる幅広い知識を学ぶ。

<教育目標>

(1) 十分な知識・技能と、科学的な探究心・思考力・批判力をもつ

(2) 自ら主体的に学ぶ力をもつ

生理学的検査の画像や波形解析の理論と技術を理解し習得する。

臨床検査技師に必要な生理学的知識の習得を目的とする。

4年生8月に行われる臨床生理機能検査実習に必要な基礎知識を学びかつ臨床検査技師国家試験に対応できる幅広い知識を学ぶ。

病院実習の学習成果に対応できる力をつける。

<具体的な項目>

専門分野における十分な基礎知識・基本技能 (1)

関連する分野における概括的な基礎知識・基本技能 (1)

臨床検査技師国家試験に対応できる。

## 【2】 授業計画

No.	内 容
1	生理機能検査学総論 (検査の目的と業務範囲) : 原田
2	生理機能検査学総論 (検査の注意事項、機器の取り扱い) : 鈴木
3	生理機能検査学総論 (患者心理、患者対応等) : 鈴木
4	安全対策 : 横田
5	循環器系検査① (心電図) : 久武
6	循環器系検査② (心音図、脈派、心機図) : 久武
7	循環器系検査③ : 原田
8	脳波検査 (基礎・正常派形) : 鈴木
9	脳波検査 (臨床①) : 杉山
10	脳波検査 (臨床②) : 杉山
11	筋電図検査 (基礎・正常) : 杉山
12	筋電図検査 (臨床) : 杉山
13	MR I 検査の原理と臨床 : 榎谷
14	画像検査について : 榎谷
15	平衡感覚検査 : 鈴木
16	呼吸系検査 (スパイロメトリー) : 榎谷
17	呼吸系検査 (ガス代謝、血液ガス) : 榎谷
18	超音波の基礎 (原理、方法) : 丸山
19	腹部超音波検査① : 高田
20	腹部超音波検査② : 高田
21	腹部超音波検査③ : 丸山
22	乳腺の超音波検査 : 丸山
23	産婦人科領域の超音波検査 : 丸山
24	循環器領域の超音波検査 (基礎) ① : 榎谷
25	循環器領域の超音波検査 (基礎) ② : 寶田
26	循環器領域の超音波検査 (臨床) ① : 寶田
27	循環器領域の超音波検査 (臨床) ② : 寶田
28	循環器領域の超音波検査 (臨床) ③ : 寶田
29	聴力、味覚、嗅覚検査 : 鈴木
30	学習到達度の確認 : 横田

### 【3】 到達目標

生理機能検査の必要性を理解する。  
疾患と結びつけて波形や画像を読み取ることができる。  
疾患を理解し、説明することができる。  
国家試験問題の正解を導くことができる。

### 【4】 授業概要

生理機能検査の目的や業務範囲を説明しながら、解剖的、生理学的な解説を行う。  
各生理機能検査の実際を詳しく説明し、症例も紹介する。

### 【5】 準備学習（予習・復習）および必要時間

教科書及び授業内で配布された資料を読み、予習（1時間）・復習（1時間）を行うこと。  
復習としては講義された範囲の国家試験問題を解くことが重要である。

### 【6】 教科書・参考書・参考資料

〔教科書〕 臨床検査講座 生理機能検査学 医歯薬出版株式会社  
〔参考書〕 解剖学、生理学など各種の参考書が出版されている

### 【7】 評価方法およびフィードバック

国家試験形式の定期試験を実施し、60%以上の正解を必要とする。試験後に模範解答を配布するので復習のこと。

### 【8】 オフィスアワー

授業の前後で質問等を受ける

### 【9】 関連科目

〔予め学んでおくとよい科目〕

動物生理学 基礎生理学

〔この科目に続く内容の科目〕

臨床生理学実習

### 【10】 その他

授業開始までに教科書を購入すること。別に発表される講義日程により講義の行われる日を確認すること。